

先週のマーケット動向(8月1日～8月5日)

為替、株式

	Open	High	Low	Close	Chg
USD/KRW	1,304.0	1,315.0	1,296.1	1,298.3	▲0.8
JPY/KRW	9.8060	10.0173	9.7239	9.7448	▲0.043
KOSPI	2,444.05	2,497.58	2,428.76	2,490.80	+39.30

(Source: SMBS, Bloomberg)

先週のドル/ウォン相場は上に行っており。前週末から続くリセッション懸念を背景に1日のドル/ウォンは1,304.0ウォンにてオープン。月初は実需取引も乏しい中、米ペロシ氏台湾訪問に対する米中対立懸念等ありドル/ウォンは底堅く推移した。さらに、2日海外時間にて複数の米地区連銀総裁から利上げ継続に関するコメントが相次いだ事により、米長期金利が15bp以上上昇すると、3日朝方にドル/ウォンは週高値1,315.0まで上昇した。しかし、良好な企業決算を背景に外国人投資家による韓国株買いが継続的に入る中、ドル/ウォンの上値が徐々に重くなると、4日海外時間にドル売りとなったことからドル/ウォンは週初の上昇を打ち消した。結局、先週末対比0.8ウォン下落した1,298.3ウォンでクローズ。

今週の見通し

今週のドル/ウォンは上値の重い展開を予想。良好な米雇用統計は、市場参加者の期待が先行気味だった、インフレの緩和と米利上げ速度下落の期待を打ち消す内容となっている。一方株式市場はリセッション懸念が後退したことで、金利上昇に関わらず底堅い印象だ。韓国株式も例外ではなく、外国人投資家による株買いが継続的に入っている。米ペロシ氏台湾訪問に端を発する米中対立も小康状態となりつつある中、ウォン売り材料は徐々に減ってきている印象だ。さらに市場のアクティビティが下がるこの時期は当局による介入等の影響も出やすく、ドル/ウォンは大きく下落する展開に警戒したい。

予想レンジ

USD/KRW	JPY/KRW	USD/JPY
1285 ~ 1315	9.45 ~ 9.75	134.5 ~ 136.5

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

* USD/KRW chart (source: Bloomberg)



* JPY/KRW chart (source: Bloomberg)



今後の予定

- 8日(月) 日 6月 国際収支
- 10日(水) 米 7月 CPI
- 中 7月 PPI
- 中 7月 CPI
- 韓 7月 失業率
- 11日(木) 米 7月 PPI
- 12日(金) 米 8月 ミシガン大消費者マインド指数 速報値